

介護福祉士実務者研修

WEB 学習システム II

学習の手引き

全国介護福祉総合サポート協会

担当：栞島

TEL.093-383-1137 FAX.093-383-1137

MAIL:info@kaigo-support.org

1. はじめに

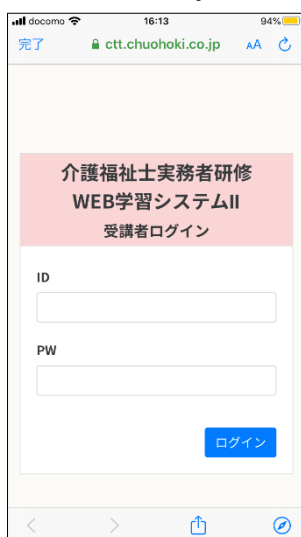
本手引きについては、【介護福祉士実務者研修 WEB 学習システム II】のご利用される前に、必ずお読みください。本手引きでは、『介護福祉士実務者研修テキスト 全5巻』の理解をより深めるための、本 WEB 学習システムの活用方法についてふれております。今回のシステムバージョンアップにより、「より速く」「より使いやすくなった」WEB 学習システム。学習を進めていただくうえでの大きな武器となるかと考えておりますので、ぜひご覧ください。

* PC 版のログイン画面です。

2. 動作環境

【介護福祉士実務者研修 WEB 学習システム】の管理画面は、インターネットに接続した状態でご利用いただくサービスです。登録・編集等を行う場合はインターネットに接続できる環境が必要です。

- ・ブラウザは Internet Explorer 11、Google Chrome、Microsoft Edge、Firefox、Safari をお試しください。
- ・スマートフォンもご利用いただけます。タブレット端末では動作の保証はできません。
- ・より高速なネットワーク環境の方がページの表示が早く、快適にご利用いただけます。
- ・高速な WiFi(無線 LAN)、LTE および光回線の有線接続された環境ですと、より快適にご利用いただけます。
- ・低速な環境でご利用されますと、ページの表示が遅いといった症状が発生する可能性があります。ご了承ください。



* スマートフォン版の画面イメージです。

3. 学習に使用する書籍について

本 WEB 学習システムについては、中央法規発行の『介護福祉士実務者研修テキスト』に準拠しています。

- ・第1巻 人間と社会 第2版
- ・第2巻 介護Ⅰ 介護の基本、コミュニケーション技術、生活支援技術
- ・第3巻 介護Ⅱ 介護過程
- ・第4巻 こころとからだのしくみ
- ・第5巻 医療的ケア



* テキスト全5巻。内容理解の促進のため、本 Web 学習システムをご活用ください。

第1～4巻までの編集方針は、以下のとおりです。

- 「医療的ケア」を除く 1,800 時間の介護福祉士養成課程のうち、実務経験のみでは修得できない知識・技術を 4 冊分で構成しています。
- 初任者研修や介護職員基礎研修等を修了したことにより履修免除となる科目が「章単位」で設定されており、教えやすく、学びやすい目次構成にしています。
- 国が示す実務者研修の「教育に含むべき事項」「到達目標」に基づいて、介護福祉士に求められる基礎的・応用的（実践的）な知識と技術が習得できるようにしています。
- 介護保険法をはじめとする制度の解説や、医学的知識のなかでも身体構造の解説等については、図表やイラストを多用して視覚的にも学習できるように配慮しています。また、「生活支援技術」の科目には DVD を添付しています。

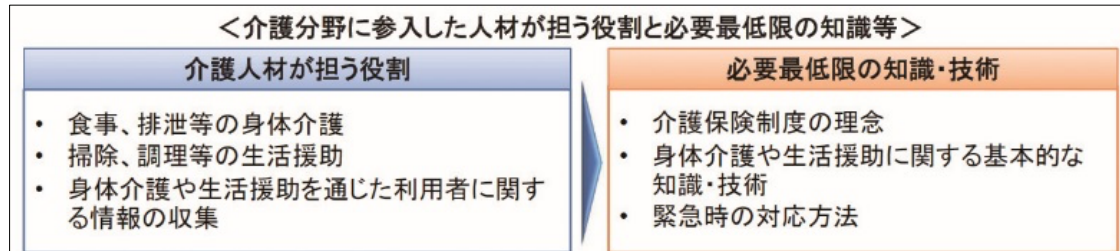
また、第5巻の編集方針は、以下のとおりです。

- 喀痰吸引・経管栄養の「医療的ケア」について、初めてのひとでも間違いを起こすことなく、安全に実施できるような構成にしています。
- 喀痰吸引・経管栄養に関係するトピックなどを、本文の文章とは別に、mini 知識として掲載しています。
- 身体の構造の解説等について、文章だけでなく図表やイラストを多用してビジュアル的側面に配慮しています。
- シミュレーターを用いる演習前に、実施手順のイメージがもてるよう自己学習用の DVD を添付しました。

⇒全5巻の理解を深めるため、本 WEB 学習システムをご活用ください。

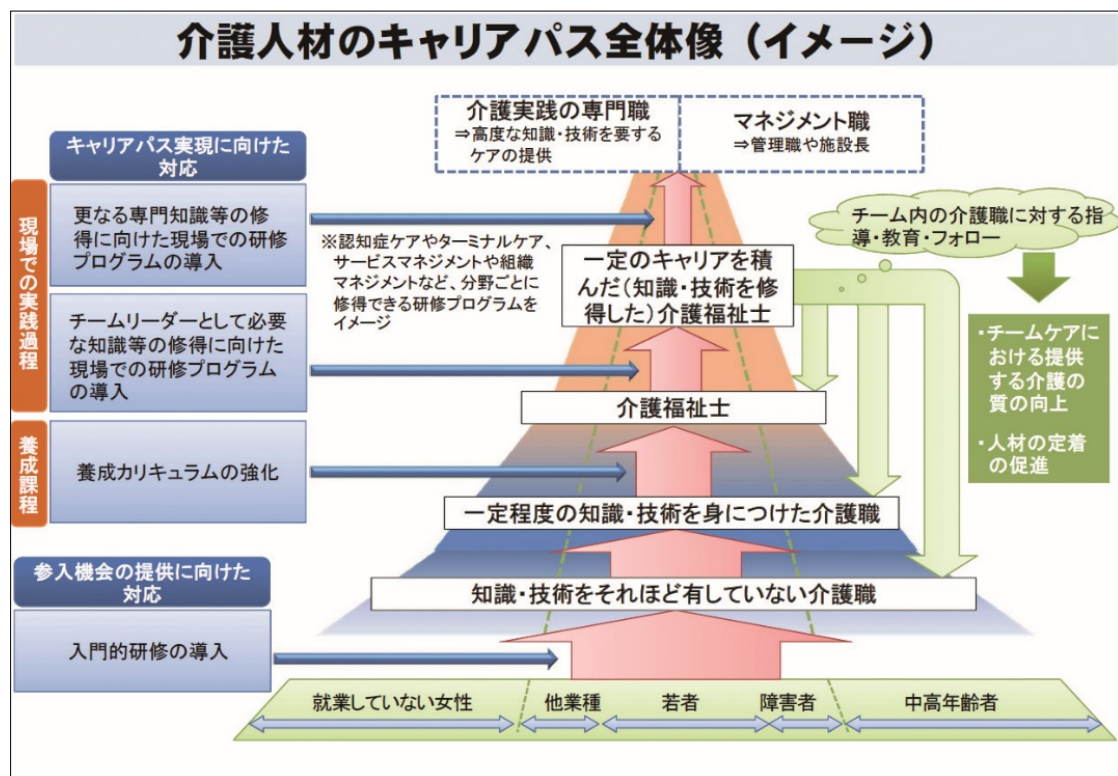
4. 介護職のキャリアパスについて

国が示している「介護人材の機能とキャリアパスについて」に沿い、本 WEB 学習システムをご活用いただくことで、利用者の尊厳ある自立した生活を支援するため、介護に関する基礎的な知識・技術を学んでいただきます。



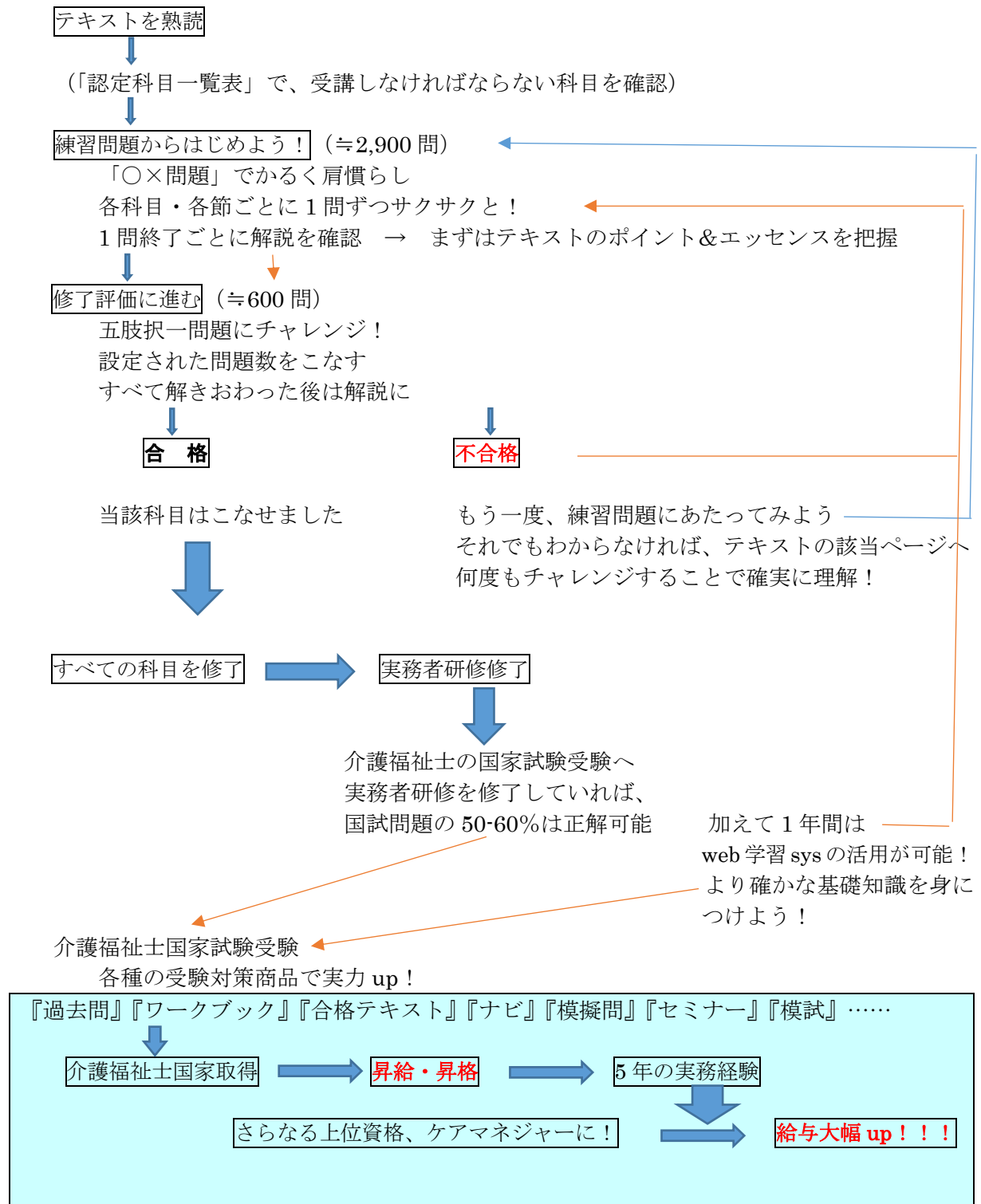
* 厚生労働省第6回社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会平成28年10月5日資料1より抜粋。

また、実務者研修修了後、それぞれの人材の意欲・能力に応じ、キャリアアップを図っていくにあたって、「介護福祉士国家試験」取得をめざす際にも、本 WEB 学習システムで培った学習習慣が役立つような配慮もしております。



* 厚生労働省第6回社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会平成28年10月5日資料1より抜粋。

5. 反復学習の効果 フロー図

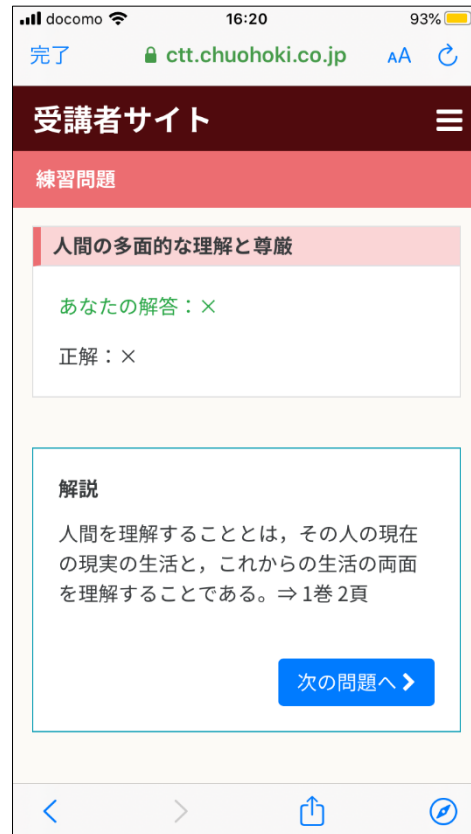
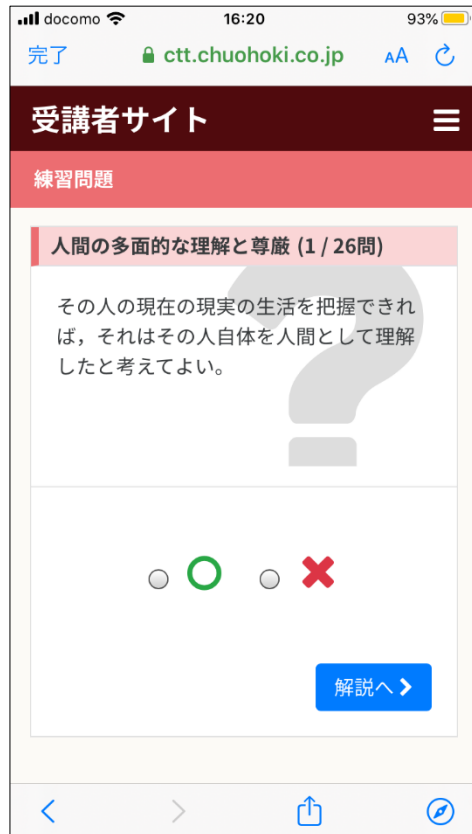


※テキストの理解 ……練習問題でポイントの把握！
 ※反復することの重要性 ……裏表の構成を繰り返すにより自然に理解！
 ※実務研修終了後も活用可 ……免除科目も含め基礎知識の獲得に最適！

6. 練習問題画面の説明

○まずは「練習問題」にチャレンジ。テキストのポイントを押さえよう！

⇒これは「○×問題」。テキストの重要部分をすべて抽出して出題。



* スマートフォン版の画面イメージです。

⇒掲載問題数は約 2,900 問。各科目・各節ごとにとにかくサクサクと解答しよう。

⇒1 問終了ごとに解説を確認→この繰り返しが基礎知識の蓄積につながる。

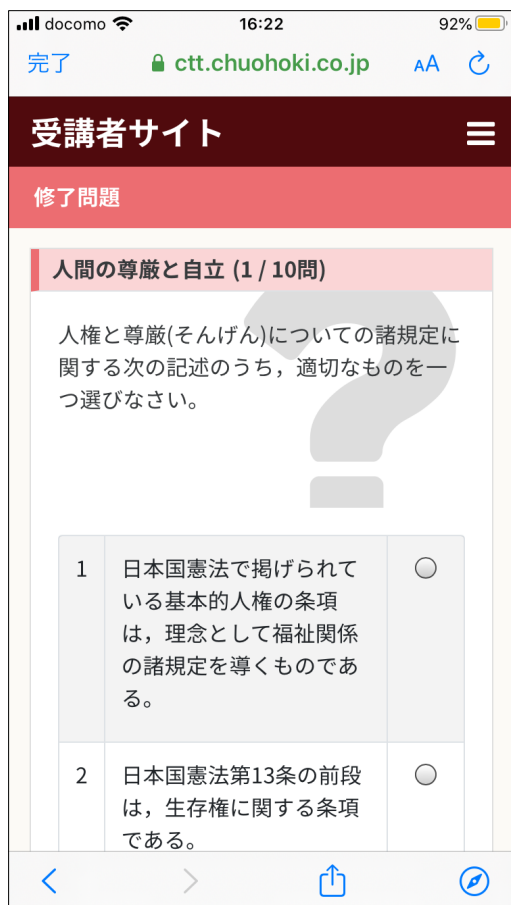
○繰り返すことで理解が深まり、修了評価突破につながる！

⇒何度でもチャレンジ可能→とにかく覚えて「実務者研修テキスト」のエッセンスを理解。

⇒修了評価とも連動。→ここでの学習が修了評価突破の鍵になる。

7. 修了評価画面の説明

○こちらは「五肢択一問題」。修了評価用に約 600 問を用意。



* スマートフォン版の画面イメージです。

⇒設定された問題をこなす。

⇒すべて解き終わった後は解説へ。

⇒合格→当該科目は修了（「正しい知識を把握することができました」）。

⇒不合格→もう一度チャレンジ（「どうすれば修了できるのでしょうか？」）

○いつでも「練習問題」に戻れる。

⇒もう一度、練習問題にあたってみよう！

⇒それでもわからなければ、テキストの該当ページへ。

⇒この繰り返しが確実な理解につながる。

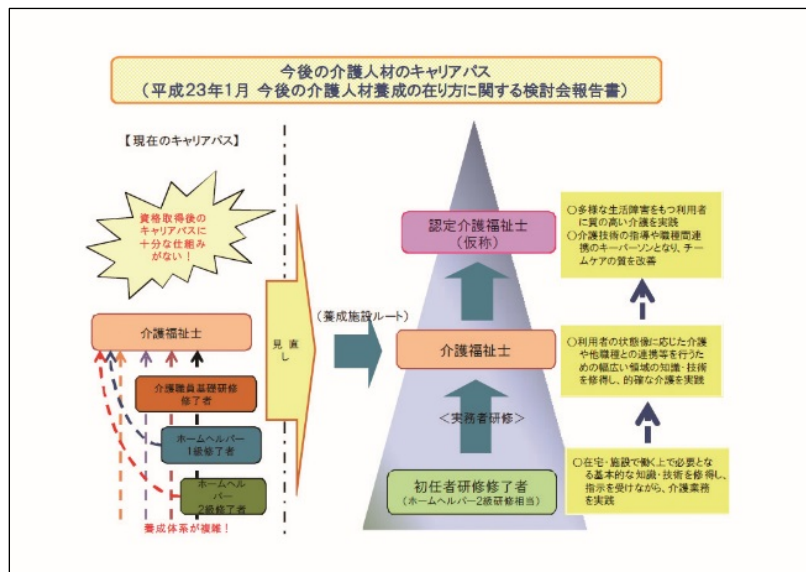
⇒「練習問題」と「修了評価」は裏表の関係。

* 本 WEB 学習システムは、修了評価（五肢択一問題）の選択肢を分解・加工して練習問題（○×問題）としています。ですから、両者は裏表の関係なのです。修了評価に出題されている問題は、すべて練習問題に収載されているため、こちらに戻れば、ご自身が誤って理解した部分が必ずわかります。また、練習問題はテキストのエッセンスを網羅してあるため、これらを連動することで実務者研修のすべてを理解・修了することにつながります。

⇒反復することで絶対に修了できる！

8. 将来的な国家試験の合格に向けて「キャリアパスの構築にもってこい！」

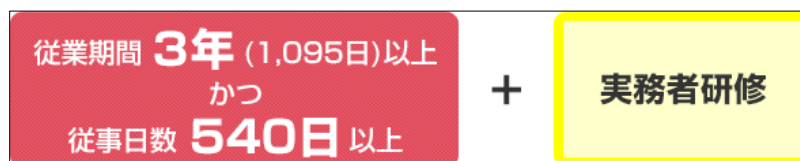
○次は、介護福祉士国家試験の資格取得を！



* 平成23年1月今後の介護人材養成の在り方に関する検討会報告書より抜粋

⇒実務者研修修了→（実務経験と合わせ）介護福祉士国家試験受験資格の獲得！

* 受験資格となる実務経験は、現に就労した期間・日数が次のとおりが必要です。従業期間・従事日数の要件は、両方とも満たす必要があります。なお、従業期間・従事日数は試験実施年度の3月31日まで通算することができます。



⇒加えて、本 WEB 学習システムは、すべての問題につき1年間の使用が可能。

⇒免除された科目も活用可能→ここですべての基礎知識を得てしまおう！

⇒介護福祉士国家試験は、実務者研修の内容をしっかりと理解すると、60%程度は正解できる！

※介護福祉士国家試験 合格率等

	受験者数	合格率	合格点	得点率
第29回(2016年度)	76,323名	72.1%	75点	60.0%
第30回(2017年度)	92,654名	70.8%	77点	61.6%
第31回(2018年度)	94,610名	73.7%	72点	57.6%

⇒何度でも納得いくまでチャレンジ！

⇒より確かな知識を身につけたうえで、介護福祉士国家試験に自信をもって臨もう！

○そして、介護福祉士に――

⇒いま、介護福祉士は、介護保険施設で「引く手あまた」！

* 「離職」や「人材不足」、etc. が巷間をにぎわす介護現場。施設にせよ在宅にせよ、「できる人員の確保（介護福祉士）」は喫緊の課題。すなわち「金の卵」なのです。

⇒介護職としての理念・技術の習得、就業・待遇アップにむけた最大のチャンスがここに――！